

イーストスプリング・ インド・インフラ株式ファンド

追加型投信／海外／株式

第21期(決算日 2017年5月22日)

作成対象期間(2016年11月22日～2017年5月22日)

第21期末(2017年5月22日)	
基準価額	9,949円
純資産総額	32,472百万円
(2016年11月22日～2017年5月22日)	
騰落率	25.9%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド」は、2017年5月22日に決算を行いました。当ファンドは、主としてインドの金融商品取引所に上場されているインフラ関連株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。

当期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を選択

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号: 03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

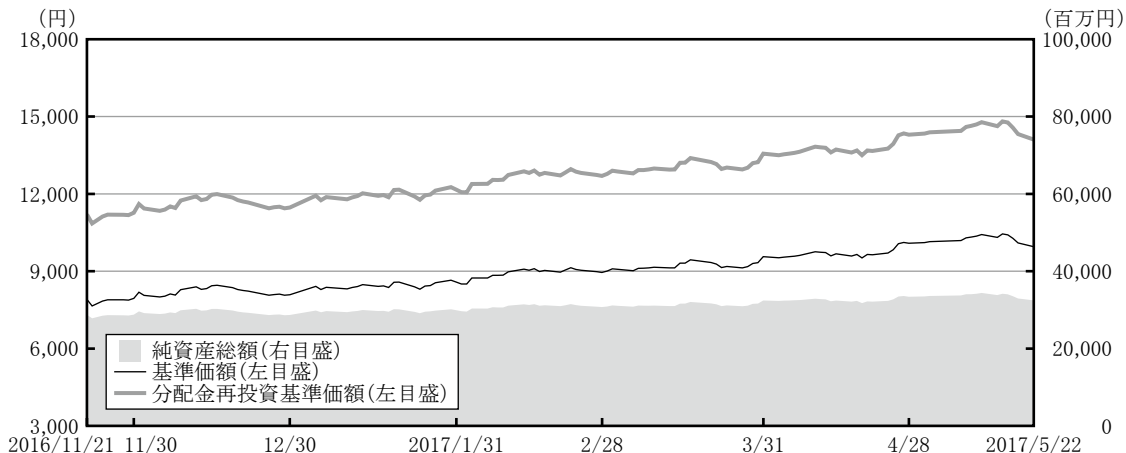
ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

運用経過

基準価額等の推移について(第21期:2016年11月22日から2017年5月22日まで)



第21期首	7,902円
第21期末	9,949円(既払分配金0円)
騰落率	25.9%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

モディ首相の改革推進への期待感や2017年モンスーン期の降雨量が平年並みとの予測などを受けてインド株式市場が堅調となったことや、外国人投資家のインド金融市場への資金流入を背景にインドルピー高円安となったことから、基準価額は上昇しました。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2016/11/22 ～2017/5/22		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	59円	0.661%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、8,870円です。
(投信会社)	(24)	(0.269)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(33)	(0.377)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.006	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(0)	(0.004)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他)	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用(マイナス金利相当額)
合計	60	0.667	

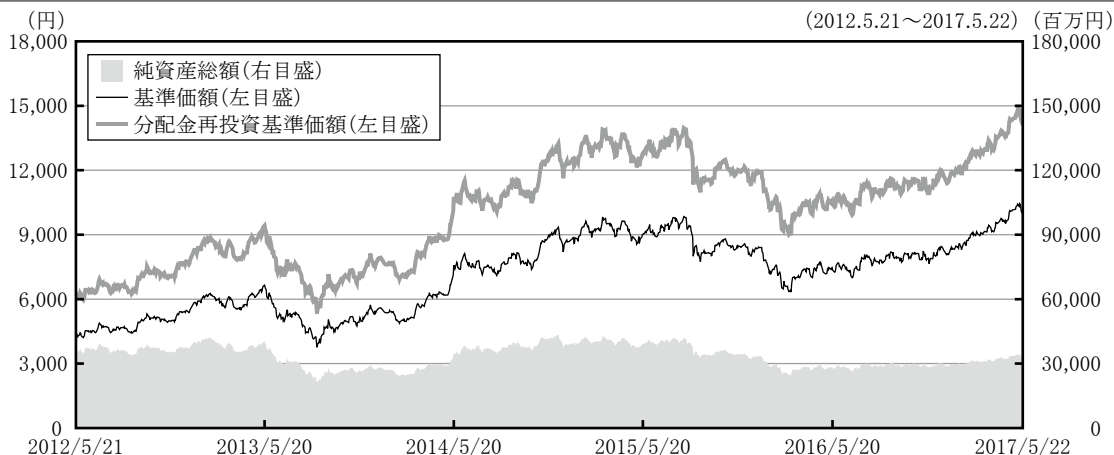
(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日	2012/5/21	2013/5/20	2014/5/20	2015/5/20	2016/5/20	2017/5/22
基準価額 (円)	4,334	6,649	7,590	9,025	7,358	9,949
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	53.4	14.2	18.9	△18.5	35.2
純資産総額 (百万円)	36,086	40,170	35,098	39,141	27,946	32,472

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

○海外株式市況

2016年11月上旬の高額紙幣廃止を受けて、現金決済への悪影響から消費に下押し圧力がかかるとの見方が台頭し、12月末までインド株式市場は弱含みとなりました。しかし、2017/18年度予算案の内容が好感されたことや海外株式市場が堅調となったことなどから上昇し、2017年3月中旬にインド人民党が地方選挙で大勝すると、モディ首相の改革推進への期待が一段と高まり上昇に勢いがつく形となりました。その後も、2017年モンスーン期の降雨量が平年並みとのインド気象局の予測などを好感して期末まで堅調に推移しました。

○為替市況

2016年11月上旬に行われた米国大統領選挙直後に世界的に米ドル買いの動きが強まり、インドルピーが下落していた反動で、期初から12月初旬にかけてインドルピーは対米ドルで上昇しました。その後も、外国人投資家からインド金融市場へ力強い資金流入があったことなどを背景にインドルピーは堅調となりました。一方、円も2017年1月初旬から4月中旬にかけて対米ドルで上昇しましたが、インドルピーの対米ドルでの上昇幅が大きかったことから、通期ではインドルピー高円安となりました。

○国内債券市況

米国大統領選挙後、世界的に長期金利が上昇し、2016年12月中旬にかけて日本国債の利回りも上昇（価格は下落）しました。2017年1月下旬から2月初めにかけて、日銀の国債買いオペレーションの不透明感を背景に利回りは再び上昇し、その後、米国トランプ政権の政策実行の不確実性などを背景に利回りはやや低下（価格は上昇）し、通期では小幅な利回り上昇となりました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド（以下「インド・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

○インド・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン

インドのインフラ関連企業の株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。当期は、運輸株や銀行株の保有などがプラス要因となりました。

○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるBofAメルリリンチ国債インデックス(1－10年債)を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。相対的に長期の債券利回りが上昇したことから小幅ながらマイナスのリターンとなりました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (1万口当たり、税引前)

項目	第21期	
	2016年11月22日 ～2017年5月22日	
当期分配金 (円)	—	
(対基準価額比率) (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	936	

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

○当ファンド

主要な投資対象の一つであるインディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープンの組入比率を高位に保つことを基本とします。

○インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン

インド経済については、強気の長期見通しを維持しています。政府は2017年7月1日を導入目標としてGST(物品・サービス税)の手続きを進めており、導入後は消費財の流通などが効率的になり、実質国内総生産(GDP)成長率の押し上げにつながると期待されています。政府は補助金の支給を抑制する代わりに、長期に持続的な効果が見込まれるインフラ投資を通じた景気支援を行っており、インフラ関連企業の受注の増加、業績の拡大につながることが期待されます。国内の政策対応の進展や景気動向だけでなく、外的要因にも留意しつつ、選別投資を行って参ります。

○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。長期的には米国債など海外債券の利回りに追随し、利回りは上昇するとみています。

お知らせ

○金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に基づき、信用リスク集中回避のための投資制限に関する文言または条項の追加など、投資信託約款に所要の変更を行いました。

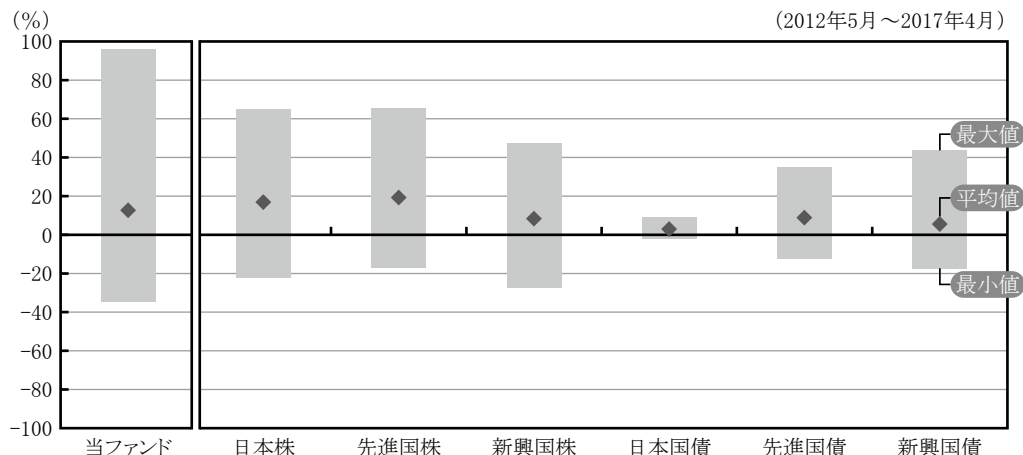
(変更日:2017年3月21日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2006年11月8日から2026年11月20日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの金融商品取引所に上場されているインフラ関連株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド」(米ドル建て)の投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(毎年5月20日および11月20日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	12.7	16.9	19.2	8.3	2.9	8.9	5.5
最大値	96.0	65.0	65.6	47.3	9.3	34.9	43.7
最小値	-34.7	-22.0	-17.1	-27.5	-1.8	-12.3	-17.4

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2012年5月から2017年4月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<各資産クラスの指数>

日本株: 東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

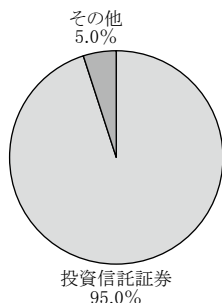
○組入ファンド

(組入銘柄数:2銘柄)

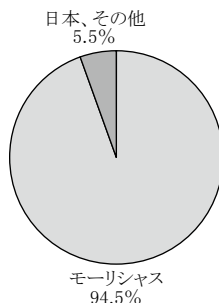
ファンド名	第21期末 2017年5月22日
イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド	94.5%
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)	0.5%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

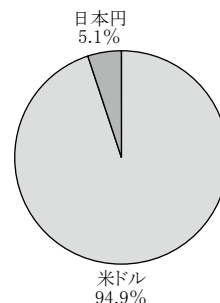
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第21期末 2017年5月22日
純資産総額	32,472,775,348円
受益権総口数	32,640,189,167口
1万口当たり基準価額	9,949円

* 当期中において追加設定元本額は1,528,192,229円、一部解約元本額は5,266,147,090円です。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・インフラストラクチャー・エクイティ・オープン・リミテッド

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移

(2015年9月1日～2016年8月31日)



○1万口当たりの費用明細

(2015年9月1日～2016年8月31日)

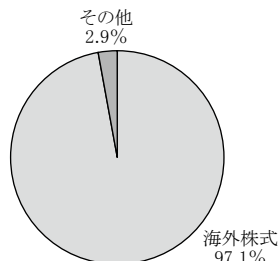
当該期間のFinancial Statements(監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

○組入上位10銘柄(組入銘柄数:47銘柄)

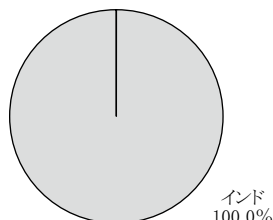
(2016年8月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	ICICI Bank Ltd	銀行	インド	9.8%
2	Axis Bank Ltd	銀行	インド	6.2%
3	Container Corporation of India Ltd	運輸	インド	5.2%
4	NTPC Limited	公益事業	インド	5.0%
5	Cummins India Ltd	資本財	インド	4.3%
6	Reliance Industries Limited	エネルギー	インド	4.1%
7	Larsen & Toubro Ltd	資本財	インド	3.8%
8	Tata Chemicals Ltd	素材	インド	3.6%
9	Sadbhav Engineering Ltd	資本財	インド	3.4%
10	Power Grid Corporation of India Ltd	公益事業	インド	3.3%

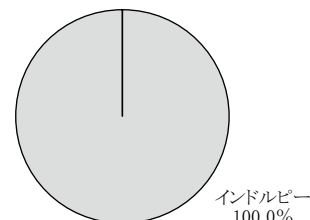
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。
 (注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

○基準価額の推移

(2016年2月26日～2017年2月27日)



○1万口当たりの費用明細

(2016年2月26日～2017年2月27日)

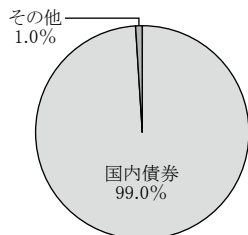
項目	金額	比率
(a) 信託報酬	24円	0.217%
(投信会社)	(15)	(0.141)
(販売会社)	(2)	(0.022)
(受託会社)	(6)	(0.054)
(b) その他費用	6	0.052
(監査費用)	(6)	(0.051)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	30	0.269

○組入上位10銘柄(組入銘柄数:21銘柄)

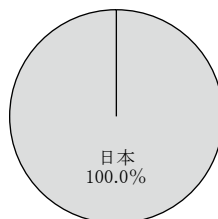
(2017年2月27日現在)

	銘柄名	種別	利率	償還日	国・地域	比率
1	第285回利付国債(10年)	国債	1.7%	2017/3/20	日本	9.8%
2	第80回利付国債(20年)	国債	2.1%	2025/6/20	日本	8.4%
3	第87回利付国債(20年)	国債	2.2%	2026/3/20	日本	8.1%
4	第63回利付国債(20年)	国債	1.8%	2023/6/20	日本	6.9%
5	第48回利付国債(20年)	国債	2.5%	2020/12/21	日本	6.8%
6	第311回利付国債(10年)	国債	0.8%	2020/9/20	日本	6.4%
7	第67回利付国債(20年)	国債	1.9%	2024/3/20	日本	6.3%
8	第69回利付国債(20年)	国債	2.1%	2024/3/20	日本	5.7%
9	第53回利付国債(20年)	国債	2.1%	2021/12/20	日本	5.4%
10	第47回利付国債(20年)	国債	2.2%	2020/9/21	日本	5.3%

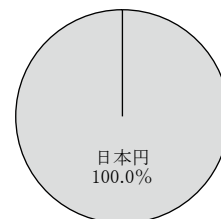
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細の項目の概要および注記については、2ページの「1万口当たりの費用明細」の記載をご参照ください。
 (注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

指数に関して

○当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」のベンチマークについて

- ・バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連しもしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メリルリンチはイーストスプリング・インベストメンツ株式会社によるバンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- ・東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・NOMURA-BPIは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
- ・シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- ・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。